

道内における地デジの現状と取り組み

平成24年1月24日（火）14：00～



目 次

I	新たな難視対策等	
1	対策未了の新たな難視地区数・世帯数及び対策計画策定状況（暫定値）	1
2	北海道内のデジタル混信の状況	2
3	北海道内のフェージング等が原因と疑われる事案（1）	3
4	北海道内のフェージング等が原因と疑われる事案（2）	4
5	デジタル混信、フェージングについて	5
6	周波数リパックの実施結果について	6
7	周波数リパック	7
II	共聴施設等のデジタル化対応結果	
1	辺地共聴施設・受信障害対策共聴施設のデジタル化対応結果	8
2	道内ケーブルテレビ事業者の暫定的デジアナ変換導入状況	9
III	道内視聴者に対する受信対策支援	
	地デジコールセンターへの電話相談（道内関係）の概要	10





1 道内における対策未了の新たな難視地区数及び難視世帯数(平成23年12月末現在)

	H23. 7月24日 難視対策計画	H23. 7月24日 精査後対策計画	※ H23. 12月末 現在難視対策計画
対策未了難視 地区数	1,057地区	1,057地区	1,311地区
対策未了難視 世帯数	5,572世帯	5,143世帯	7,206世帯
自治体数	115自治体	115自治体	131自治体

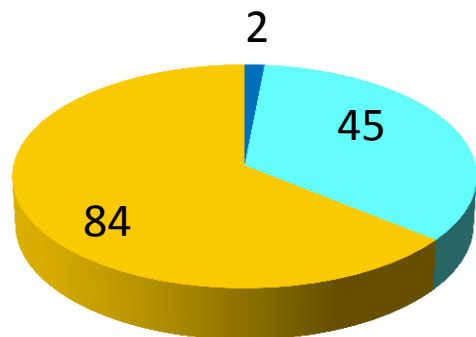


0世帯	48地区	0世帯
1～5世帯	1,032地区	1,844世帯
6～10世帯	118地区	875世帯
11～20世帯	64地区	888世帯
21～30世帯	19地区	463世帯
31～50世帯	12地区	468世帯
51～100世帯	10地区	749世帯
101世帯以上	8地区	1,919世帯
合計	1,311地区	7,206世帯

※ H23・7月24日精査後の数を基準としていることから対策完了数も含んでいます。

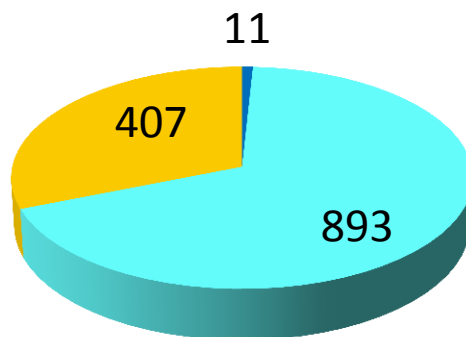
2 道内における対策未了の新たな難視地区の対策計画策定状況(平成23年12月末現在)

①自治体別対策計画策定状況
(自治体数 131自治体)



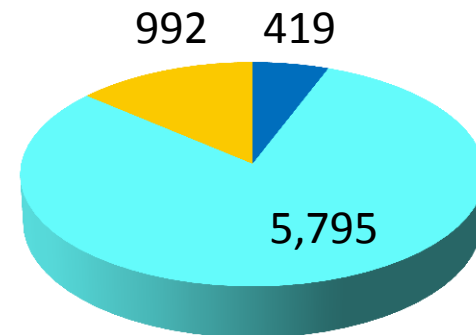
■ 停波後対策完了
■ 対策計画策定済
■ 対策計画未策定地区あり
(自治体・住民説明中)

②地区数別対策計画策定状況
(難視地区数 1,311地区)



■ 停波後対策完了
■ 対策計画策定済
■ 対策計画未策定
(自治体・住民説明中)

③世帯数別対策計画策定状況
(難視世帯数 7,206世帯)

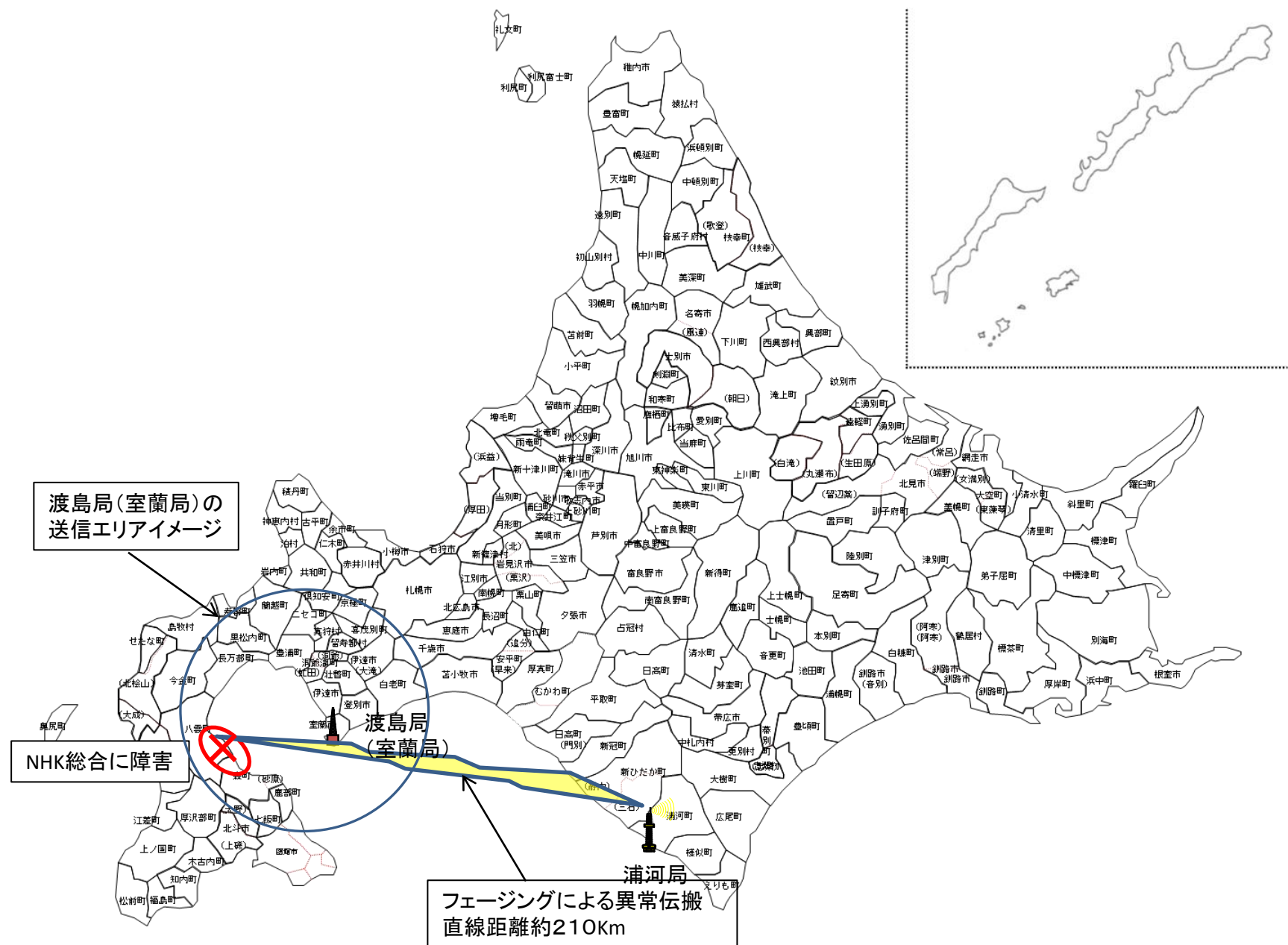


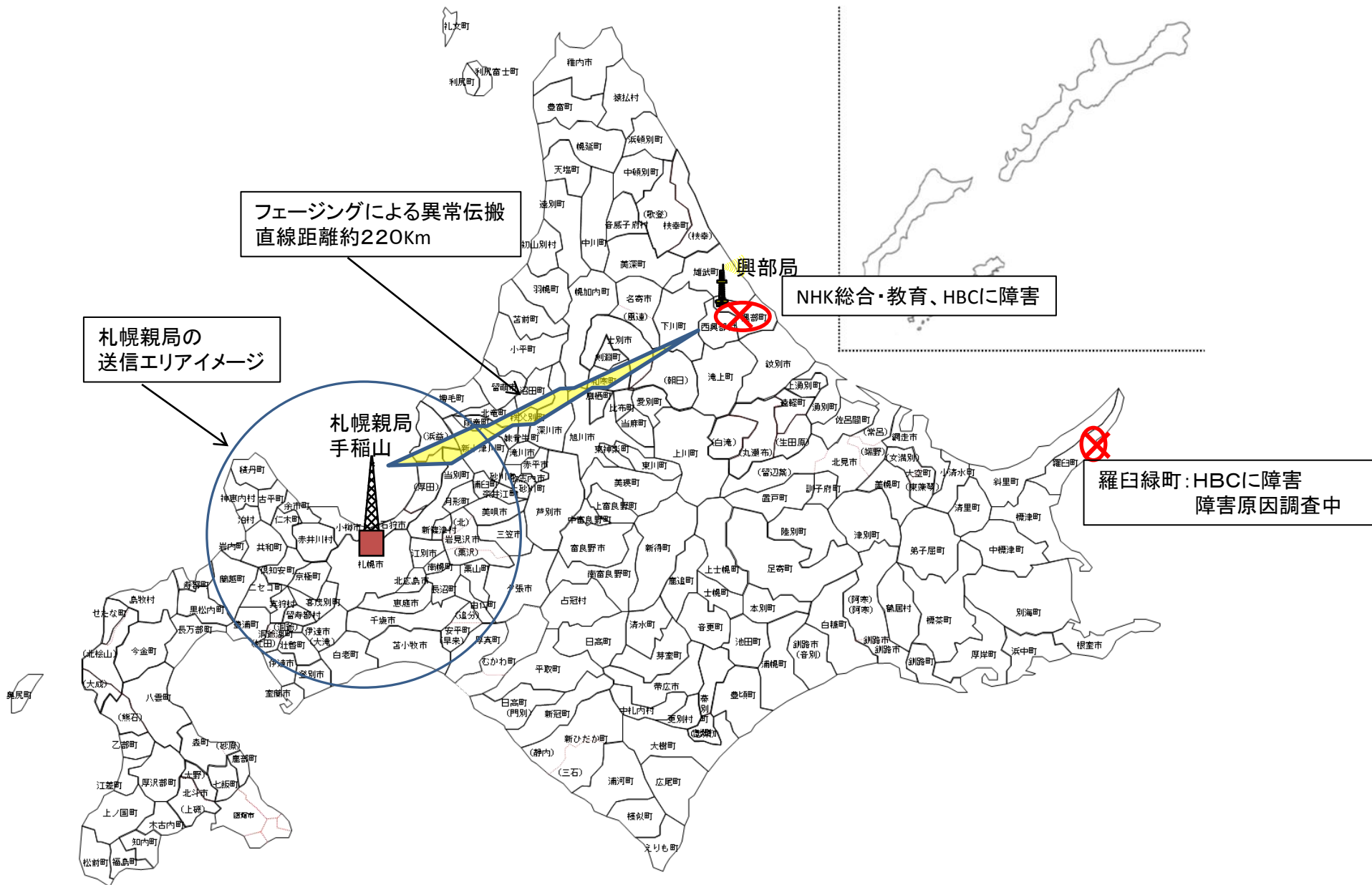
■ 停波後対策完了
■ 対策計画策定済
■ 対策計画未策定
(自治体・住民説明中)

	地区	原因	進捗状況、対策の方向性等
1	旭川市西神楽	札幌局(希望局)に対する旭川局からの混信(常時混信)	H22.6.8 対策計画公表・公示済み。 共聴施設新設により対策完了。
2	北見市留辺蘂町花園	若佐局(希望波)に対する網走局の妨害(常時混信)	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。 高性能アンテナ対策により対策完了。
3	上士幌町郊外及び足寄町の一部	帯広局(希望波)のマルチパスによる品質劣化(常時混信)	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。(H23.1.7足寄町の一部を追加) 高性能アンテナ等による対策実施中。
4	幕別町途別	帯広局(希望波)のマルチパスによる品質劣化及び札幌局妨害(常時混信(季節等の変動あり))	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。 高性能アンテナ等による対策実施中。
5	日高町、新冠町、新ひだか町の一部	静内局(希望波)に対する室蘭局の妨害(フェージング混信)	H23.1.7 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。 H23年度以降、静内中継局のリパック対策実施。
6	上富良野町十勝岳温泉	旭川局(希望波)に対する札幌局の妨害(常時混信)	H23.1.7 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。 H24年度、受信点調査を行い、高性能アンテナ対策実施。
7	根室半島全体	根室局(希望波)に対する釧路局の妨害(フェージング混信)	H23.1.18 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。H23年度、長期電測実施。 恒久対策検討中。
8	東川町旭岳温泉	旭川局・札幌局間の妨害(常時混信)	H23.2.17 対策計画公表・公示済み。 CATV加入工事により対策完了。
9	岩見沢市市街地	デジタルタクシー無線による混信	H23.2.17 対策計画公表・公示済み。 受信設備へのフィルター挿入により対策実施中。
10	八雲町市街地	渡島局(希望波)に対する浦河局の妨害(フェージング混信)	H24.2 対策計画公表・公示予定。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。恒久対策検討中。
11	興部町市街地	興部局(希望波)に対する札幌局の妨害(フェージング混信)	H24.2 対策計画公表・公示済予定。 暫定的難視対策衛星放送により対応予定。恒久対策検討中。
12	羅臼町緑町	羅臼緑町局(希望波)に対する外来波の妨害(常時混信)	H24.2 対策計画公表・公示予定。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。恒久対策検討中。

I 新たな難視対策等

3 北海道内のフェージング等が原因と疑われる事案(1)







<デジタル混信とは>

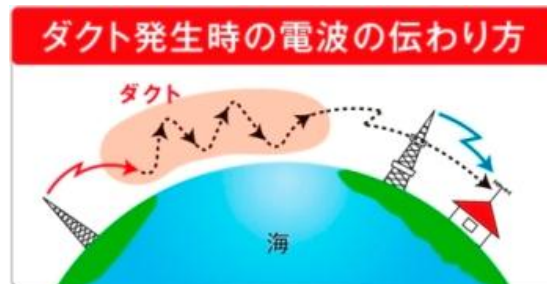
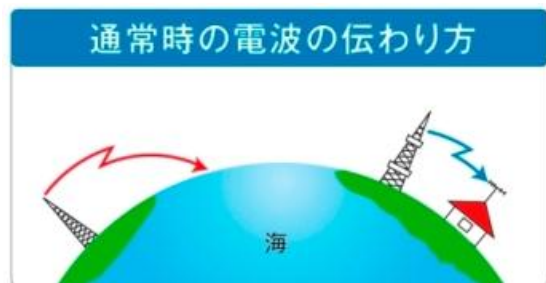
- ・他の電波の影響により地デジ放送を良好に視聴できない受信障害現象のことです。
- ・他の地デジ放送波(海上伝搬などのフェージング、飛び込みなど)、デジタルタクシー波などが主な原因で、全国の地上デジタル放送推進協議会において、対策を実施しています。
- ・支援策は、送信チャンネルの変更(リパック)、高性能アンテナ対策などがあります。

<フェージングとは>

電波の異常伝搬による受信障害の原因となるもので、春から夏にかけて稀に発生します。

テレビの送信所から受信点までの距離が比較的長い場合に、電波が伝搬する通路又は通路上の大気中の媒質が気象条件などにより変動することによって、受信電波の強さが変化し、安定して放送波の受信ができなくなる現象です。

また、フェージングの一種として、気温や水蒸気量により大気中の電波の屈折率が大きくなり、地表面(海面)との反射を繰り返すことにより、通常では届かない遠方へ電波が届くようになる事象をラジオダクトと呼びますが、このダクトにより運ばれた電波がテレビに混信して受信障害が発生します。



受信障害の特徴

症状は、アナログ放送では、ビート障害、スノーノイズの発生などでした。

デジタル放送では、受信電界の低下、または、混信によるブロックノイズの発生、受信不能状態(ブラックアウト)の障害がほとんどです。

障害発生時間は、短いときも長いときもあり、時間の経過とともに比較的穏やかに変化しますが、数時間以内に消滅することがほとんどです。

電気雑音や受信ブースターの不具合などによる受信障害は、ご近所などごく限られた範囲に発生しますが、異常伝搬による障害は比較的広範囲に発生します。

<参考>

道内では、日高地区(日高町、新冠町、新ひだか町)、根室市、八雲町市街地、興部町等にて、フェージングによる混信が発生しており、恒久対策実施までには時間を要するため暫定的難視対策衛星により対策を講じています。

局所名	NHK		HBC	STV	HTB	uhb	TVh	ch変更実施日
	総合	教育						
南羊蹄	34	36	55→28	57→29	18	59→37	26	H23.10.3(月)
平取	51	49	55→44	57→46	61→48	53→52	47	H23.10.4(火)
苫小牧宮の森	50	54→49	62→51	59→46	48	52	56→47	H23.10.17(月)
様似	21	17	27	59→38	23	25	56→36	H23.10.31(月)
えりも	50	34	35	33	48	52	54→46	H23.10.31(月)
知内小谷石	29	31	33	58→37	59→39	61→41	62→43	H23.11.29(火)

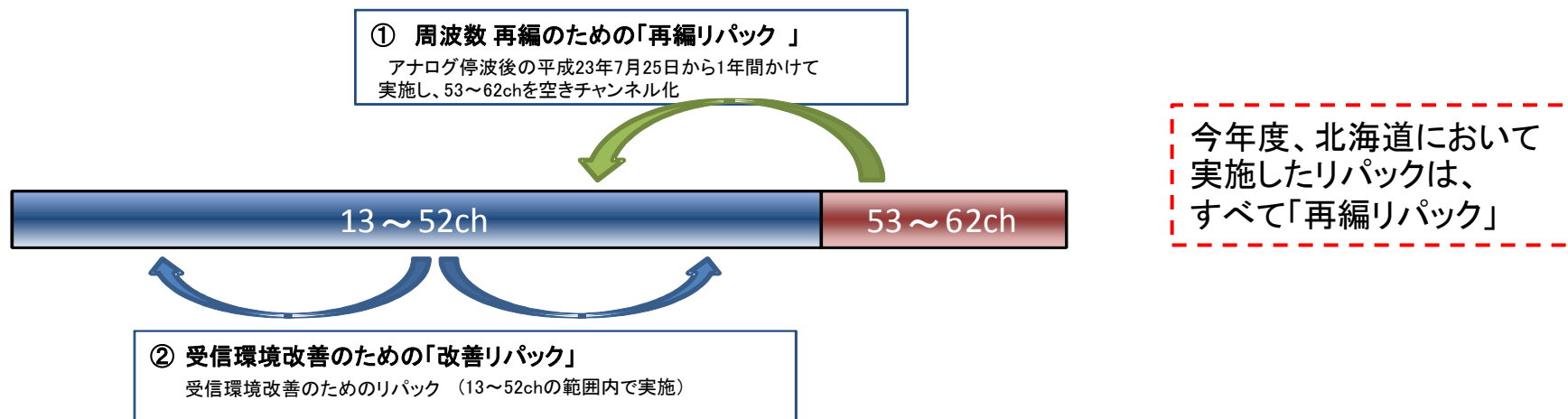
全ての中継局において計画どおり、リパックを実施済み。

- ① 事前の住民周知(自治体広報誌、リパック周知ちらし配布等)
- ② 現地対策事務所の設置
- ③ 事前、事後のチャンネル設定受付
- ④ 対象地区の戸別訪問

放送における周波数リパックには、「① 周波数再編のための再編リパック」及び「② 受信環境改善のための改善リパック」があり、アナログTV放送終了後、全国で順次実施。

① 周波数再編のための再編リパック

将来の周波数資源の再配分のため、53～62chのチャンネルを使用するデジタル放送の中継局は、平成23年7月24日のアナログ停波から1年間で13～52chにチャンネルを切替え。



② 受信環境の改善のための改善リパック

国内外の電波の影響により地上デジタル放送の受信障害が発生する地域において、デジタルチャンネルを変更することにより障害を解消。

※平成24年度、静内局のリパックを予定

辺地共聴施設(自主共聴)

●平成23年7月20日全施設デジタル化対応済み

総施設数	対策済	
	改修・ケーブルテレビ編入等	衛星SN(地デジ難視対策衛星放送)による暫定対策
357	348	9※

※:改修等 ⇒ 8施設(士別市①、富良野市①、豊浦町④、礼文町②) 未定 ⇒ 1施設(岩内町)

受信障害対策共聴施設

●平成23年7月21日全施設デジタル化対応済み

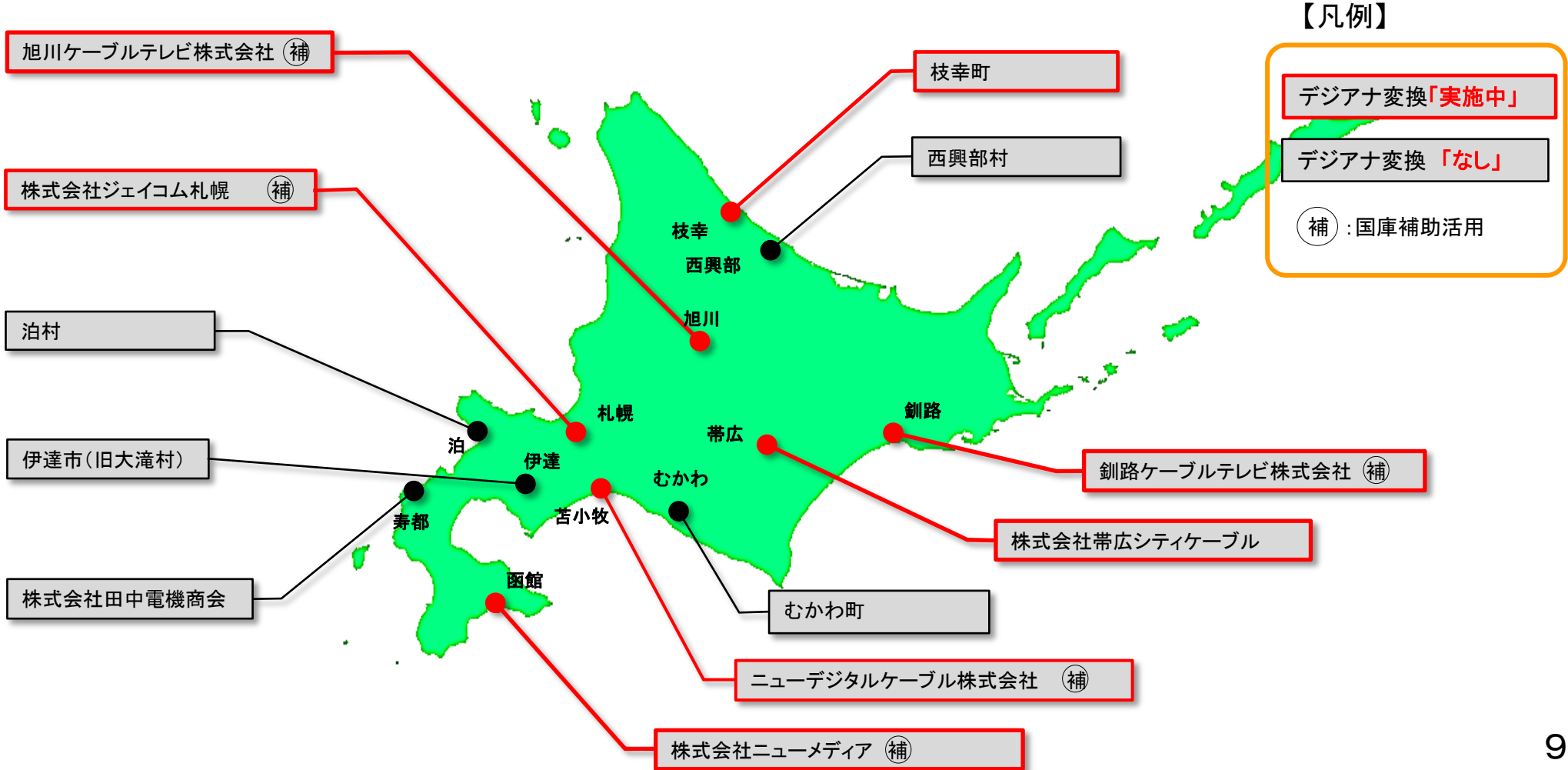
	総施設数	世帯数	デジタル化対応状況				
			対応済み施設数	世帯数	未対応施設数	世帯数	
デジサポ	道央地域	4,656	155,149	4,656	155,149	0	0
	道北地域	555	14,462	555	14,462	0	0
	道東地域	413	14,253	413	14,253	0	0
	道南地域	310	4,598	310	4,598	0	0
国・地方公共団体等	1,346	84,567	1,346	84,567	0	0	
合計	7,280	273,029	7,280	273,029	0	0	

Ⅱ 共聴施設等のデジタル化対応結果

2 道内ケーブルテレビ事業者の暫定的デジアナ変換導入状況

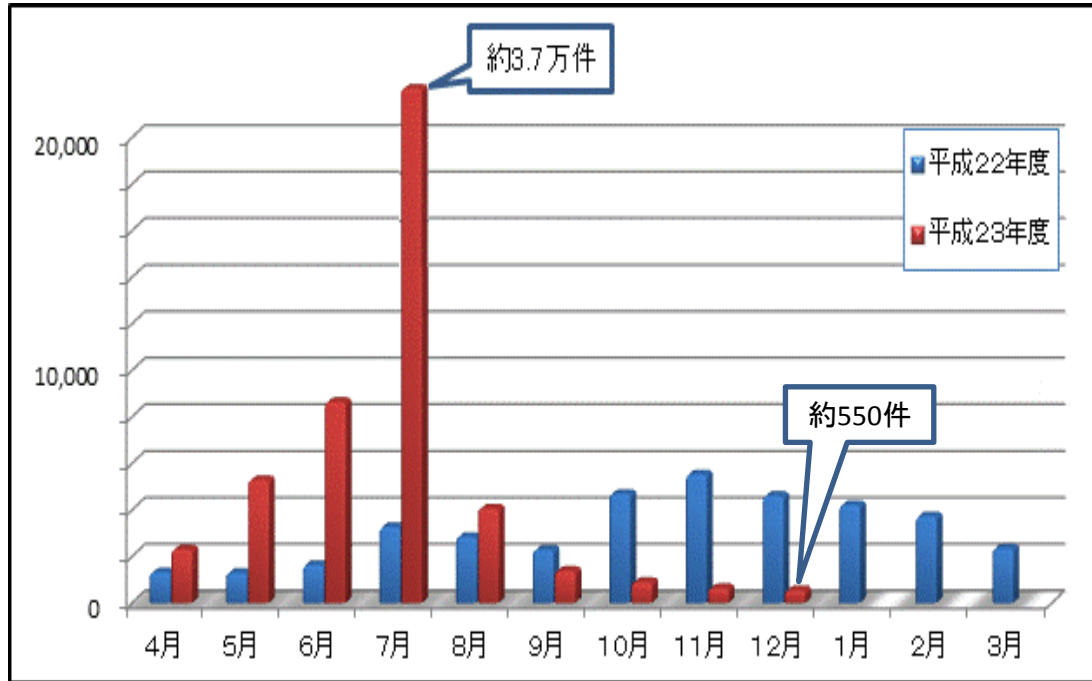


- デジアナ変換※導入は、地上デジタル放送への完全移行に向けた受信環境整備の一環
 - 自主放送を実施するケーブルテレビ事業者12者のうち、7事業者が実施
- ※デジアナ変換は、ケーブルテレビ事業者が、地上デジタル放送の番組を再送信するとともに、期間限定(2015年3月末までの)暫定的措置として、地上デジタル放送をアナログ方式に変換(デジアナ変換)した信号も併せて各家庭に配信するもの。

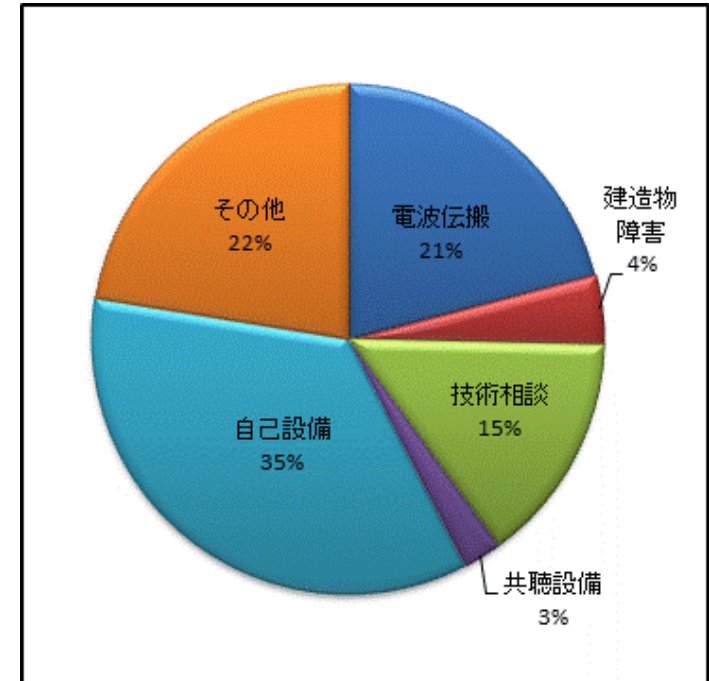




電話相談件数の推移



地デジ移行後(平23年12月)の相談内容



- 電話相談件数は、ピークの7月24日以降は収束傾向
7月の相談件数は、約3.7万件(全国は、約76.7万件)
12月の相談件数は、約550件(全国は、約2万件)
- 道内と全国の電話相談件数は、同様な傾向で推移

注 移行時期を3月31日に延期した東北3県(宮城県・岩手県・福島県)を含む

- 電波伝搬: 中継局の受信エリア、一部・全CHが映らない
- 建造物障害: ビル陰障害
- 技術相談: アンテナの方向、宅内配線の改善方法
- 共聴設備: 共聴設備が不良による障害の改善アドバイス
- 自己設備: 自己設備が不良による障害の改善アドバイス
- その他: 安価な地デジチューナーの入手方法等

本資料についてのお問い合わせ先

北海道総合通信局 ☎ 011-709-2311

I 新たな難視地域の対策等

☆☆☆ 情報通信部放送課 中屋敷（内線4662）

II 共聴施設のデジタル化対応結果

☆☆☆ 情報通信部有線放送課 太田（内線4672）

III 道内視聴者に対する受信対策支援

☆☆☆ デジタル放送受信者支援室 神原（内線4670）